

項目		説明
試料・情報 の 利用 目的 及び 利用 方法	研究課題名	遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対するリスク低減卵管卵巣摘出術施行時に発見された悪性所見発生に関する検討
	研究目的	<p>遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (Hereditary Breast and Ovarian Cancer Syndrome; HBOC) の方は生まれつき乳癌や卵巣癌を発症しやすい体質を持っています。診断された場合は念入りな定期検査やがんを発症する前に乳房や卵巣卵管を切除する手術 (リスク低減乳房切除およびリスク低減卵巣卵管切除術 (risk reducing salpingo-oophrectomy, 以下 RRSO)) が勧められています。</p> <p>RRSO 前の検査では異常がない場合でも手術で摘出した卵巣等を調べるとがんやがんの前段階の病変が見つかることが稀にあります。しかし、それについてどのように対応すると良いのかはまだ分かっていません。</p> <p>日本では HBOC 患者登録システムが一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構 (JOHBOC) によって運用されており、そこには前述のような方の情報も少しずつ増えてきています。</p> <p>聖マリアンナ医科大学産婦人科講座では HBOC 患者登録システムのデータをもとに RRSO でがん等が見つかった方の詳細な情報を集めて研究を行います。当院でもその研究のために聖マリアンナ医科大学産婦人科講座へ情報を提供し、研究に貢献していきます。</p>
	研究対象者	2017年8月～2021年1月に HBOC 患者登録システムに登録された遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者で RRSO にて病理組織所見で悪性が認められた症例。
	研究期間	西暦 2021 年 7 月 5 日 ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の 項目 (チェック[X]が入った項目 を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・ 情報の 管理に ついて の責任 者	当センター 研究責任者	遺伝診療科 成松宏人
試 料・ 情報 を利 用す る者 の範 囲	当センターでの実 施診療科/部局等	遺伝診療科
	共同研究の場合、 共同研究機関およ び各施設での研究 責任者	聖マリアンナ医科大学 産婦人科学講座 鈴木直